回復期リハビリテーション病棟の実績

当院の回復期リハビリテーション病棟では、各患者さんのリハビリテーションの効果・成果（アウトカム）を数値化した実績指数を算出しています。
退棟患者数及び実績指数は以下のとおりです。

■当院の回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数　71　名

〈内訳〉回復期リハビリテーションを要する状態（再掲）		
① 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	63	名
② 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	0	名
③ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	5	名
④ 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	0	名
⑤ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	3	名
⑥ 股関節又は膝関節の置換術後の状態	0	名
⑦ 急性期心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0	名
⑧ ①～⑦に準ずる状態	0	名

実績算出期間：　2026 年　7　月 ～　2026 年　9　月

■当院の回復期リハビリテーション病棟の実績指数　58.66　点

※厚生労働省が定める実績指数基準値：48点以上

① 回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	150	名
② ①のうち、実績指数の計算対象とした患者数	114	名
③ ②の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から、入棟時のFIM得点(運動項目)を控除した総和	2,466	点
④ ②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時に状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和	42.04	

※実績指数　＝　③/④

実績算出期間：　2026 年　4　月 ～　2026 年　9　月

FIM(Function Independence Measure：機能的自立度評価表)の略で、実際の日常生活動作(ADL)を評価する方法です。 運動（食事・更衣・トイレ等）13項目と運動（理解・記憶等）5項目に分かれており、全18項目を介助量に応じて6段階で評価します。



最低点：18点　　最高点：126点

函館新都市病院　回復期リハビリテーション病棟